

【事例紹介】

## 可能性のある国、コロンビアへの留学

### -日本・コロンビア間の学術交流-

#### Study in Colombia, a Land of Possibilities

駐日コロンビア共和国大使館 教育・学術交流担当 窪田 有佳子

KUBOTA Yukako

(Education Affairs, Embassy of the Republic of Colombia in Tokyo, Japan)

キーワード：コロンビア留学、スペイン語留学、大学学術交流、海外の高等教育事情、グローバル化

#### 1. はじめに

コロンビアは、太平洋とカリブ海に面した南米大陸の北西の端という恵まれた位置にあり、多様な気候と地理的条件により、世界有数の生物多様な国のひとつである。また、先住民族文化、ヨーロッパ文化、そしてアフリカ文化が融合し、独自の豊かな文化を生み出す魅力的で様々な可能性のある国である。国土面積は1,139,000 km<sup>2</sup>（日本の約3倍）、人口は約4,550万人<sup>1</sup>（日本の約3分の1）、現在の平均年齢は、30歳代と若い世代が多い国のひとつとなっている。

過去、50年余り続いていた内戦はフアン・マヌエル・サントス前大統領（2016年ノーベル平和賞を受賞）2016年6月に停戦合意に達し終結したことにより、その後コロンビアは急速な変貌を遂げ、和平構築にも力を入れている。

治安の改善などを背景に外国からの投資が急増しており、世界銀行の「ビジネスのしやすさ」ランキング（2019年）では、中南米でメキシコ、チリに次ぐ第3位であると評価され、ラテンアメリカの中では第4位の経済規模である。日本貿易振興機構（ジェトロ）が「2018年度中南米進出日系企業実態調査」の中でコロンビアに進出している日系企業にアンケートを行った結果、現地日系企業の72.2%が今後の事業を拡大していくと回答し、その理由として73.7%の企業が「市場規模、成長性」の面でコロンビアに投資環境メリットがあると答えた。加えて、5社に1社が日本人駐在員を増員すると回答している結果などを見ても、現在のコロンビアが現地に進出する日本企業にポジティブに評価されて

<sup>1</sup> DANE2018 <https://www.dane.gov.co/index.php/estadisticas-por-tema/demografia-y-poblacion/censo-nacional-de-poblacion-y-vivenda-2018/cuantos-somos>

いることが見てとれる。<sup>2</sup>

また、コロンビアは旅行先としても注目され、今や世界有数の観光大国となっている。外国人旅行者数は増加傾向にあり、2010年の260万人から2014年の420万人に急増の後、2018年には430万人を記録し、インバウンド観光成長率は2017年比で7.7%成長（ラテンアメリカの成長の2倍）している。Web版『ロンリープラネット』（スペイン語）でコロンビアは2017年に訪れるべき国第2位に選ばれた。

日本との関係では、昨年、日本・コロンビア修好110周年を迎えた。両国の貿易関係に着目すると、主な対日輸出品は石炭、原油、コーヒー、切り花等で、対日輸入は自動車、鉄鋼、ゴム製品等である。（2017年財務省貿易統計）主要産業のひとつであるコーヒー（世界第3位のコーヒー生産国<sup>3</sup>）の他に、花の輸出も盛んで、日本市場に出回る輸入カーネーションの約70%がコロンビア産である。豊かな土壌と一年を通じて気候が安定しているため、中央部の山岳地方では色鮮やかで品質の高い1,400種以上の品種の花が栽培され、カーネーションの生産高は世界一、現在、海外90以上の国に向けて輸出され、花の輸出国としては世界第2位、世界的にコーヒーと同様、コロンビアは「花の国」としての地位を獲得している。

## 2. コロンビアの教育への取り組み

政治・経済が安定する中、2018年に発足した現イバン・ドゥケ・マルケス大統領政権の元、政府は格差解消に向け幼児教育拡充、全日制授業の拡大、低所得者向け大学授業料の無償化を掲げ、教育制度改革に力を入れている。<sup>4</sup>

前政権では、「現在と将来のために教育は国を構築する一番の投資である。」とし、2025年までにラテンアメリカで最良教育国になることを目指しているとの方針を示していた。平等を達成する平和な国を構築するための最も強い基盤として質の高い教育を経済状況に関わらず、全ての子供と若い人々に、より良い人間形成、生活の変革、夢の実現に貢献する平等な教育を提供する必要性があると考え、多くの若者が高等教育を受けられるよう促進した結果、2016年には238万人の学生が高等教育課程に進学している。また、更に、コロンビアは広く世界に目を向け、高等教育のグローバル化を目指している。

<sup>2</sup> 日本貿易振興機構（ジェトロ）「変貌するコロンビア - ビジネスのしやすい国へ - 」

<https://www.jetro.go.jp/tv/internet/04/20150402160.html>

<sup>3</sup> International Coffee Organization(2017/2018)

<http://www.ico.org/historical/1990%20onwards/PDF/1a-total-production.pdf>

<sup>4</sup> 日本貿易振興機構（ジェトロ）「コロンビアビジネスセミナー—投資の機会と創造—」2019年3月22日配布資料

### 3. 日本とコロンビアの大学機関間での学術交流の事例

日本とコロンビアの学術交流は、近年、文部科学省による「大学の世界展開力強化事業」や科学技術振興機構（JST）の「さくらサイエンスプログラム」、科学技術振興機構（JST）と国際協力機構（JICA）による「地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム（SATREPS）」等の支援や大学間の学術交流協定締結などにより、年々留学生数が増加している。

また、昨年2018年にはボゴタにあるロスアンデス大学キャンパス内に、日本政府による日本文化・経済・学術センターが開設され、コロンビア人にとって日本をより知る機会が増えている。

コロンビアとしては、今後、日本との協定校を一層増やし、学術交流を促進したいと考えている。また、既にコロンビアと交流のある日本の大学は、充実したプログラムを実施している。2019年3月現在の大学間での具体的な学術交流事例を一部紹介する。（以下順不同）

#### 事例：群馬大学

2007年に交流協定締結。サバナ大学からの交換留学生、サバナ大学付属病院から研修生（医師）を、各医学分野へ受入れる。短期研修として医学部医学科の学生5名をサバナ大学に派遣し、2週間の地域医療実習を実施。また共同研究や教員・研修者の派遣などが継続して行われている。

#### 事例：埼玉大学

2018年、コロンビアの3大学と学術包括協定ならびに学生交換覚書を締結した。JST（科学技術振興機構）による「さくらサイエンスプロジェクト」の支援により、2回にわたってそれぞれ約10名のコロンビアの学生を招聘した。2018年12月に来日した情報科学専攻の学部生は「情報技術の科学と社会への実装」を、2019年1月に来日した人文社会科学系を中心とした学生は「科学技術と社会実装のための人材交流」をテーマに、日本の社会・文化および高等教育の実態、情報技術とロボットへの応用、化学と生物物理分野への情報技術の応用に関して、それぞれ専門の教員より講義を受け、日本人学生と共に議論を交わしながら親交を深めた。2019年3月同大学教授がコロンビアを訪問し、複数の大学で講義を行うなど継続的な学術交流が行われている。

#### 事例 上智大学・南山大学・上智大学短期大学部

3大学が連携し、文部科学省による平成27年（2015）年度「大学の世界展開力強化事業」に採択された「人の移動と共生における調和と人間の尊厳を追求する課題解決型の教育交流プログラム（Sophia-Nanzan Latin America Program：以下、LAP）」の枠組みの中で、2016年より夏期休暇中約4週間、教皇庁立ハベリアーナ大学で開講する短期スペイン語集中研修のため、上智大学および南山大学の学生をコロンビアに派遣している（上智大学単体では2015年度より派遣）。本研修は、高度なスペイン

語運用能力を習得するとともに、コロンビアの社会や文化、歴史について理解を深めることを目的に実施しており、現地で学生は同大学教職員および在校生の家庭にホームステイし学内外で交流を深めている。その他、両大学では長期留学でも教皇庁立ハベリアーナ大学、ロスアンデス大学と学生交換を活発に行っており、特に受入留学生については、両大学で連携したマルチキャンパス受入プログラムを実施している。

### 事例 上智大学

2011年に教皇庁立ハベリアーナ大学、2015年にロスアンデス大学と交換留学協定締結以来、学生の派遣・受入が継続して行われている。ハベリアーナ大学とは、交換留学協定締結に先立ち、2007年より学術交流協定を締結しており、様々な学術交流が行われている。前述のLAPによる交流の活発化を受けて、近年では新たに上智大学地球環境学研究科の教員と、ハベリアーナ大学の研究者との共同研究も始まっている。2018年12月には、科学技術振興機構「さくらサイエンスプラン」に採択されたプログラムより、同大学の学生と教員計11名を招聘し、上智大学地球環境学研究科の教員と共同で、湿地や島の持続可能性に焦点を当てた現地調査やシンポジウムが行われた。2019年4月より短期教員交換制度を初めて利用し、ハベリアーナ大学建築学部教授が上智大学にて研究活動を行う予定である。2018年12月にコロンビア外務大臣が来日した際には、駐日コロンビア大使館と共催で上智大学にて「外相来日記念講演」が開催された。

### 事例：筑波大学

文部科学省による平成27年度「大学の世界展開力強化事業～中南米等との大学間交流形成支援～」採択事業に、「持続的な社会の安全・安心に貢献するトランスパシフィック協働人材育成プログラム」が採択されている。本事業は筑波大学が推進する国際的互換性のある教育に向けた改革の下、日本と経済連携協定を締結したメキシコ、コロンビア（交渉中）、ペルー、チリ（「太平洋同盟」諸国4か国）と160万人の日系社会を擁するブラジルを交流相手国とし、中でも筑波大学との厚い交流実績を有する中南米屈指の大学との連携しつつ、共通課題である持続的発展と地球規模課題の解決に資する人材の育成を目的として実施する双方向の協働教育・履修証明プログラムである。

コロンビアとの交流については、ロスアンデス大学との大学間交流協定のもと、双方向による短期研修（3か月未満）や交換留学（6～9か月）を行うことで、相互の社会・文化への理解を深めつつ、共有する社会課題・地球規模課題への解決に向けた協働学修を実施している。また、現地協力機関や日系団体、筑波研究学園都市をはじめとする国内連携企業・機関等でのインターンシップを組み込み、課題認識と現場感覚の養成を図っている。2018年8月にはロスアンデス大学にて、第4回共同プログラム運営委員会を開催した。また、科学技術振興機構（JST）「日本・アジア青少年サイエンス交流事業さ

「からサイエンスプラン」により、昨年12月にロスアンデス大学の学生及び教員を招聘した。「日本の最先端科学及び産業技術体験プログラム」をテーマに、筑波大学の研究施設や筑波研究学園都市の研究所、更には民間の産業技術の視察及び現場体験等を取り入れ、多岐にわたる日本の最先端の科学技術についての理解と関心を深める研修内容であった。これらの事業を通じて、日本と中南米地域を結ぶ架け橋となる人材育成事業を進めている。

#### 事例：東京外国語大学

2015年に、コロンビア第二の都市メデジンにあるエアフィット大学と国際学术交流協定/学生交流協定を締結し学生交流を開始した。この学生交流は、同年に採択された文部科学省「大学の世界展開力強化事業『日本と中南米が取り組む地球的課題を解決する文理協働型人材育成プログラム』」により同事業の交換留学プログラムの一環として推進している。コロンビア人留学生は同大学の日本語教育プログラムにて日本語・日本文化を学ぶほか、学部にて国際関係論、日本近代史や政治学等を学び、日本人学生はエアフィット大学でスペイン語、ラテンアメリカ経済等の学習やダブルディグリープログラムによる修士課程でのラテンアメリカ文学の研究を行っている。

#### 事例：名古屋大学大学院環境学研究科

科学技術振興機構（JST）と国際協力機構（JICA）による地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム（SATREPS）の『コロンビアにおける地震・津波・火山災害の軽減技術に関する研究開発』（2014年5月～2020年6月）を実施している。この研究では、日本側の防災科学技術研究所、東京工業大学、東北大学、コロンビア側のコロンビア地質調査所（SGC）、コロンビア海洋機構（DIMAR）、コロンビア危機管理庁（UNGRD）、ボゴタ危機管理局（IDIGER）、コロンビア国立大学、ロスアンデス大学とともに、専門家派遣、研究者受け入れを行い、これまでコロンビア内で蓄積されてきた観測データや知見に日本の最新の監視システムや被害予測技術を融合させ、災害被害を軽減する技術の開発を行っている。

[https://www.jst.go.jp/global/kadai/h2606\\_colombia.html](https://www.jst.go.jp/global/kadai/h2606_colombia.html)

#### 事例：明治大学

2017年、中南米との関係強化を推進する「明治大学ラテンアメリカプロジェクト」を立ち上げ、コロンビアを含む中南米関連のシンポジウムを行った。コロンビアとは、ロサリオ大学、ホルヘ・タデオ・ロサノ大学、エアフィット大学と協定校を締結、これまで学生間のテレビ会議や短期の相互訪問を行うなどの交流を行っている。また、「ラテンアメリカ×マンガ プロジェクト」として大学蔵書の漫画本をエアフィット大学に寄贈し、同大学側では言語センターで日本語を学ぶ学生が中心となって移動図書館を実施するなど両校の交流が行われている。また例年コロンビアからの留学生を受け入れ

ている。

#### 4. 多様性に富む国コロンビアでスペイン語を学ぶ

コロンビアの公用語スペイン語は、英語と北京語に続く3番目に話されている言語でありコロンビアは、スペイン語の研究、高い学術レベルのために学ぶ外国語としてのスペイン語の学習地として、ラテンアメリカの中でも最も重要な国のひとつである。外国人対象としたスペイン語コースを備える大学が各都市にあり、下記は、スペイン語コースのある大学の一例である。

例) Universidad Nacional de Colombia(コロンビア国立大学ボゴタ) の外国人コース

初心者から6レベルあり、17歳以上であれば受講可能。

スケジュール	1コース受講期間	1コース受講時間	費用
月曜日～金曜日 16:00 - 18:00	2か月間 1年間に4コースあり	80時間	885.300 コロンビアペソ (約 32.000 円)

Universidad de Los Andes

<https://centrodeespanol.uniandes.edu.co/>

Universidad Nacional de Colombia

[http://www.humanas.unal.edu.co/extension\\_lenguas/cursos/spanish-courses-foreigners](http://www.humanas.unal.edu.co/extension_lenguas/cursos/spanish-courses-foreigners)

Universidad Santo Tomás

<http://institutodelenguas.usta.edu.co/index.php/servicios/curso-de-espanol-para-extranjeros/cursos>

Pontificia Universidad Javeriana

<https://www.javerianacali.edu.co/relaciones-internacionales/programa-de-espanol-lengua-extranjera-ele>

Universidad EAFIT - Bogotá

<http://www.eafit.edu.co/2014/version2014/otros-idiomas/Paginas/espanol-adultos.aspx>

#### スパニッシュ・イン・コロンビア

「スパニッシュ・イン・コロンビア」は、外国語としてのスペイン語学習プログラムを海外に向けて発信することを目的につくられたプロモーションプログラムで、コロンビア国内10都市（アルメニア、バランキージャ、ボゴタ、ブカラマンガ、カリ、カルタヘナ、エル・ソコロ、マニサレス、メデジン、ペレイラ、ビジャビセンシオ）にある約30校の大学が参加している。大学の外国人向けスペイン語クラスに関する情報（プログラムの詳細、レベル、時間割り、関連サービス、費用、連絡先情報、各都市に関する情報等）は下記のURLを参照。

<https://spanishincolombia.caroycuervo.gov.co/quienes-somos/spanish-in-colombia/>

## 5. コロンビア政府奨学金留学生の募集に関して

コロンビア政府奨学金留学生の募集に関して、コロンビア教育省直轄のコロンビア留学推進協会（ICETEX）より公募が行われる。2019年度募集要項はまだ公表されておらず、決定後、ホームページなどで告知する。ICETEX（イセテックス）は、コロンビア人学生への貸付制度、各奨学金制度を有し、学生への支援および海外で行う技術研究のために設立された組織で、国内および国際的な教育協力活動を通じて、コロンビアの教育および文化的発展を促進している。コロンビア政府からの奨学金支給留学生募集の告知も行っている。<https://portal.icetex.gov.co/portal>

ICETEXは、コロンビア人学生に奨学金を提供している諸国間の互惠協約として、これらの国々の出身者を対象に、大学院研究生課程、修士課程、博士課程の奨学金留学生を募集する。この奨学金はコロンビア国籍を持たず、コロンビア在住でない外国籍の者を対象としている。なお、本奨学金についての詳細は、<https://portal.icetex.gov.co/Portal/Home/HomeEstudiante/becas/programa-de-reciprocidad-para-extranjeros-en-colombia/becas-para-posgrado/> を参照し、掲載されている以外の事項（受給できる奨学金種類や学歴条件など）については各自で受入機関に照会すること。

コロンビア留学、コロンビアとの学術交流に関するお問い合わせ

駐日コロンビア大使館 教育・学術交流担当 窪田

東京都品川区上大崎 3-10-53

駐日コロンビア大使館

TEL : 03-3440-3451 (内線 33)

E-Mail : [yukako.kubota@cancilleria.gov.co](mailto:yukako.kubota@cancilleria.gov.co)

## 6. 学生ビザ申請に関して

学生ビザの必要な方は下記を参照し、まずはコロンビア大使館領事部にお問い合わせ下さい。

## 査証手続と必要書類

(REQUISITOS Y TRAMITES PARA VISAS)

2018年8月現在

査証の種類	学生 (TIPO-V)
滞在日数	入学許可書に基づく、最長1年 出入国の制限なし
写真	カラー写真1枚 3x4cm バック白、顔大きく髪が眉にかかっていない写真
申請書 (領事部発行)	1部

その他	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入学許可書（週最低 10 時間受講を明記）（*）</li> <li>2. 経済保証書（銀行残高証明）</li> <li>3. ビザ発給願書（例文参照）</li> <li>4. 18歳未満の場合は保護者の同意書。コロンビア滞在中の経済的責任と行動を保証したもの。（サイン証明付きのもの）</li> </ol>
パスポートコピーと過去コロンビアに入国した事が有る場合は最新のビザと出入国スタンプのある頁のコピー（A4 サイズ）	1 部

\*写真は背景が白で、サイズは3 x 4 cm、顔が大きく（肩より上、着衣は白以外）、眉毛がはっきり写ったもの、ウェブ申請にアップしたものと同一写真を提出のこと。

（\*）印がついた書類は全てコロンビア本国関係当局で発行を受けること。

### 申請書類について

1. 書類は言語がスペイン語のため、その他の言語については訳文が必要。
2. （\*）印の書類はコロンビア関係当局が発行したもの。
3. 経済保証書は、申請者名義の銀行残高証明書又は保護者名義（この場合サイン証明付保証書も要）の残高証明書が有効。
4. 過去にコロンビアの査証を取得したことのある方は、最後に取得した査証のコピーを提出。
5. 過去にコロンビアに出入国をした事がある方は、最新出入国スタンプの有るページのコピーを提出。

### 申請方法

1. 全ての査証申請はまず、コロンビア外務省ウェブサイトを通じ申請すること。（代理申請可）  
<https://www.cancilleria.gov.co/tramitesservicios/visa>  
 申請書類をアップする時は必ず旅券コピー（パーソナルデータの有る頁）から行うこと。  
 この場合申請書をアップする必要なし。  
 申請データを保存すると査証料の支払い場所記入のサイトが出る、C. TOKIO を選ぶと申請番号が出るのでその番号を申請書の上部に記入する。
2. ウェブサイト申請後、申請書類一式と写真をコロンビア大使館領事部に提出し、申請書審査料を支払う（代理申請可）
3. 後日、アポイントを設定しビザを発給する。（原則的には本人が領事部に出頭要）



領事宛て学生ビザ発給願い書の例文

発信地（例Tokio）, _____		日付 _____
Señor		
Cónsul de Colombia en Tokio Japón		
Yo _____	氏名 _____	identificado(a) con el Pasaporte No. _____
de Japón solicito comedidamente expedición de Visa de Estudiante Tipo V.		
Me comprometo actuar de buena conducta en Colombia y sufragar todos los gastos necesarios durante mi estancia hasta regresar a mi residencia para lo cual, adjunto el Estado de Cuenta de mi ahorro en Banco de _____		
_____ 預金銀行名		
Mi contrato de estudio con la Universidad de _____ es		
_____ コロンビアの受入先大学名		
desde el _____	受入開始日 _____	hasta el _____
_____ 受入終了日 _____		
Firma	サイン	
Nombre	氏名	
Pasaporte No.	パスポート番号	
Domicilio en Colombia	コロンビアの住所	

注：銀行残高証明が本人の名義でない場合、銀行残高名義人による領事への発給願い書が別途必要となる。  
その場合は、領事部に発給願い書の例文をお尋ね下さい。

査証申請受付時間（コロンビア大使館領事部）

月曜日～金曜日（祝日は除く） 午前9時～午後1時 午後2時～4時

※ 申請の際は、電話もしくは、メールにてご連絡下さい。

東京都品川区上大崎 3-10-53

駐日コロンビア大使館 領事部

TEL:03-3440-6492

E-MAIL: [consuladotokio.novedades@cancilleria.gov.co](mailto:consuladotokio.novedades@cancilleria.gov.co)

参考：・コロンビア貿易投資観光促進機構（PROCOLOMBIA）公式旅行ガイド

<http://www.colombia.travel/ja>

・コロンビア貿易投資観光促進機構（PROCOLOMBIA）発行パンフレット

・コロンビア貿易投資観光促進機構（PROCOLOMBIA）ホームページ

・日本外務省ホームページ 中南米 コロンビア共和国

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/colombia/index.html>

・コロンビア外務省発行資料

・コロンビアを知るための60章/明石書店出版/ 二村久則（編著）

・日本貿易振興機構（ジェトロ）2018年度 中南米進出日系企業実態調査

<https://www.jetro.go.jp/world/reports/2019/01/534aedc512ccb88c.html>



(参考：下記は昨年 2018 年度の募集要項)



### 対象者：



コロンビア\*で専門課程・修士課程・博士課程のいずれかの就学を希望する外国籍の者。

開始日：2018年 2学期

\*コロンビア国籍を有する者、又は現在コロンビア在住の者は対象外。

### 待遇：



授業料・登録料



生活費



健康保険



ビザ・査証

### 応募資格：



大学を卒業した又は学士号を修得（分野を問わない）した社会人経験が有る50歳未満のコロンビア国籍を有さない者。

成績優秀でコロンビアの5段階評価（1～5）で平均が最低4.0以上であること。

専攻分野で最低1年の職務経験を有すること。

十分なスペイン語能力（読み、書き、会話）を有する - （DELE試験B2レベル合格者）こと。

当公募に別添のカタログに記載の教育機関より入学許可を得ていること。

当プログラムが負担する費用は？

**100%** 就学期間中の学費

生活費（月額）

2018年度の最低賃金3ヶ月分相当

**\$2,343.726**  
(コロンビアペソ)



**緊急費用 \$ 208,853**

就学期間にやむを得ない事情がある場合、  
または事前にコロンビア留学推進協会（ICETEX）に申請し  
許可後、一度限り支給。

充実した保証内容の健康保険  
コロンビア国内での  
就学期間中のみ有効



**教材費 1年に1度**

**\$ 401,321** (コロンビアペソ)  
(就学期間中、1年毎に支給)

準備費用

**\$ 401,321** (コロンビアペソ)  
就学開始時1度限り支給



ビザ・査証費用

コロンビア留学推進協会（ICETEX）が  
**Vビザ（来訪者ビザ）の発行を保障**



応募期日：  
**2018年6月1日**

応募方法：

1. [www.icetex.gov.co](http://www.icetex.gov.co)にアクセス
2. ウェブサイト内の「BECAS」をクリック
3. さらに「Becas de Posgrado」にアクセス